

単元名 読み手が納得する意見文を書こう

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。
- (2) 感じたことや考えたことなどから書くことを選び、事実と感想、意見とを区別して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- (3) 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫し、意見文を書こうとする。

標準的な展開例

05010217_001

【教材名】 あなたは、どう考える (P. 174～P. 179)

【準備等】 知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 学習課題を設定して、学習計画を立てる。</p> <p>★読み手が納得する意見文を書こう。</p> <p>○普段の生活の中で、気付いたことなどを発表する。</p> <p>○学習の進め方を確認する。</p> <p>2 関心のあることから題材を決め、自分の考えをもつ。</p> <p>○題材を決める。</p> <p>○主張を考える。</p> <p>○主張の理由や根拠をまとめる。</p> <p>3 自分の主張を見直し、構成を決める。</p> <p>○自分の主張に対する反論を考える。</p> <p>○グループで考えを伝え合う。</p> <p>○構成を考える。</p> <p>4～5 構成をもとに、意見文を書く。</p> <p>○教科書(P. 175)の「岡本さんの投書」と、教科書(P. 178～179)の「木原さんの意見文」を比べる。</p> <p>○意見文を書く。</p> <p>○書いた文章を読み直し、推敲する。</p> <p>6 意見文を読み合い、学習を振り返る。</p> <p>○意見文を読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。</p> <p>・気付いたことだけではなく、他人の考えに共感したり、意見をもったりした経験も振り返らせる。</p> <p>・教科書(P. 175)の例を取り上げ、意見文のイメージをもたせる。</p> <p>・教科書(P. 175)の題材の例を参考に、知多の友(P. 41)に考えた題材をいくつか書かせる。</p> <p>・関心のある題材の一つを選び、知多の友(P. 41)に自分の主張を記入させる。</p> <p>・知多の友(P. 42)を活用する。</p> <p>・体験した出来事他に、図書館の本や、インターネットで情報を調べる活動を取り入れてもよい。</p> <p>・知多の友(P. 43)を活用する。</p> <p>・説得力がある根拠になっているかという視点を示し、感想を伝え合わせる。</p> <p>・教科書(P. 177)を参考に、知多の友(P. 44)に記入させる。</p> <p>・意見文では、事実と考えを区別して書くことを押さえる。</p> <p>・予想される反論とそれに対する考えを書くよさを実感させる。</p> <p>・知多の友(P. 45～47)を活用する。</p> <p>【評】意見文を書く活動を通して、自分の考えが伝わるように工夫して書く「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・知多の友(P. 48)で観点を確かめさせながら推敲させる。</p> <p>【評】推敲する活動を通して、文章をよりよく書き直す「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・知多の友(P. 48～49)を活用し、説得力のある書き方だと思ったところを中心に感想を伝え合わせる。</p> <p>【評】書いた意見文を読み合う活動を通して、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書(P. 179)の「ふりかえろう」「たいせつ」「いかそう」で、身に付けた力を押さえる。</p>

【 備 考 】